

今後の文化政策部会の検討の進め方について（案）

1. 趣旨

第2次基本方針において、重点6分野の一つとして「日本の文化芸術の継承、発展、創造を担う人材の育成」が提言されていることから、文化政策部会において、我が国の文化芸術分野における人材育成の現状と課題及び方向性について検討している。

第6期文化政策部会においては、前期の文化政策部会の審議を引き継ぎ、「芸能実演家等に関する人材育成」について検討を行うとともに、前期の文化政策部会において審議経過報告をとりまとめた「アートマネジメント人材等の育成及び活用」と合わせて最終報告書を取りまとめるものとする。

2. 検討内容

(1) 芸能実演家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材育成について

- 我が国における芸能実演家等の育成・活用の経緯及び現状と課題
- 諸外国における芸能実演家等の育成・活用の現状
- 芸能実演家等の育成・活用の在り方（国、独立行政法人、地方公共団体及び文化芸術機関等の役割分担を含む）

(2) アートマネジメント人材等の育成及び活用について

- 前期の文化政策部会の審議経過報告や意見募集の結果等を踏まえ、最終報告書のとりまとめに向けて検討

3. 開催形式

(1) 各分野（音楽、舞踊、演劇）の有識者からヒアリングを行うとともに、自由な意見交換を行う。

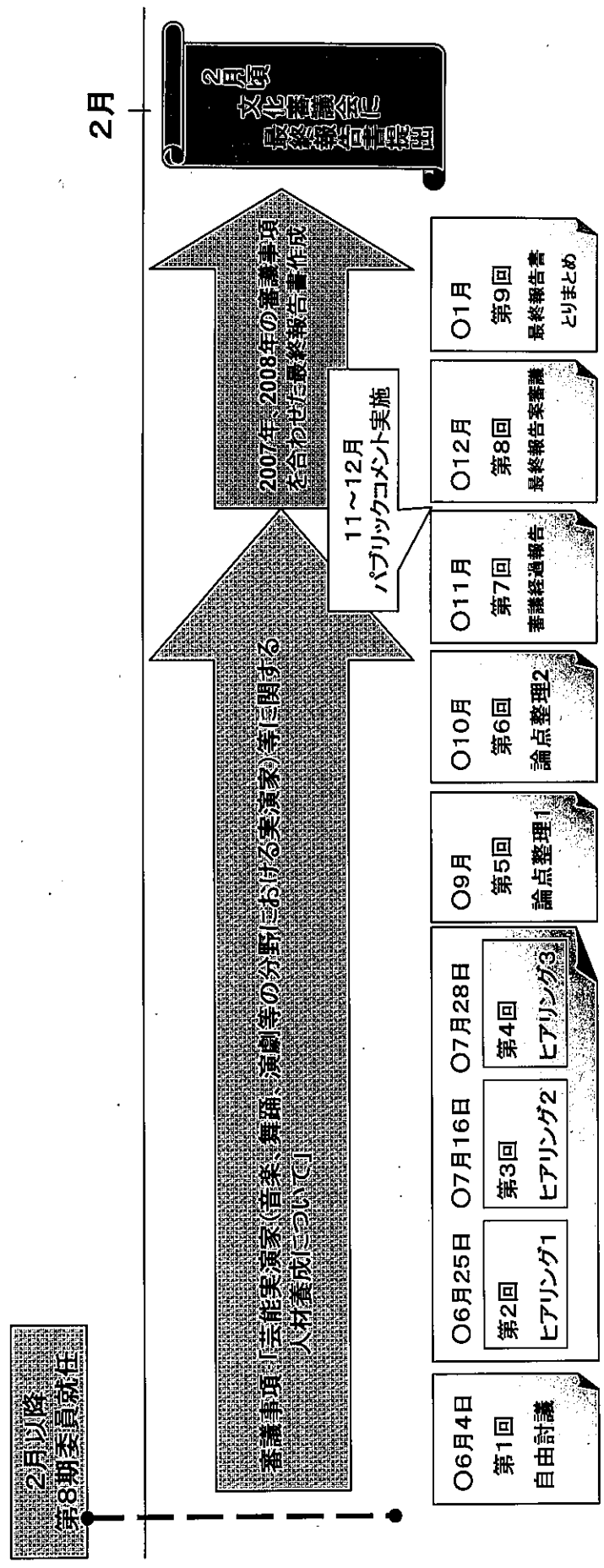
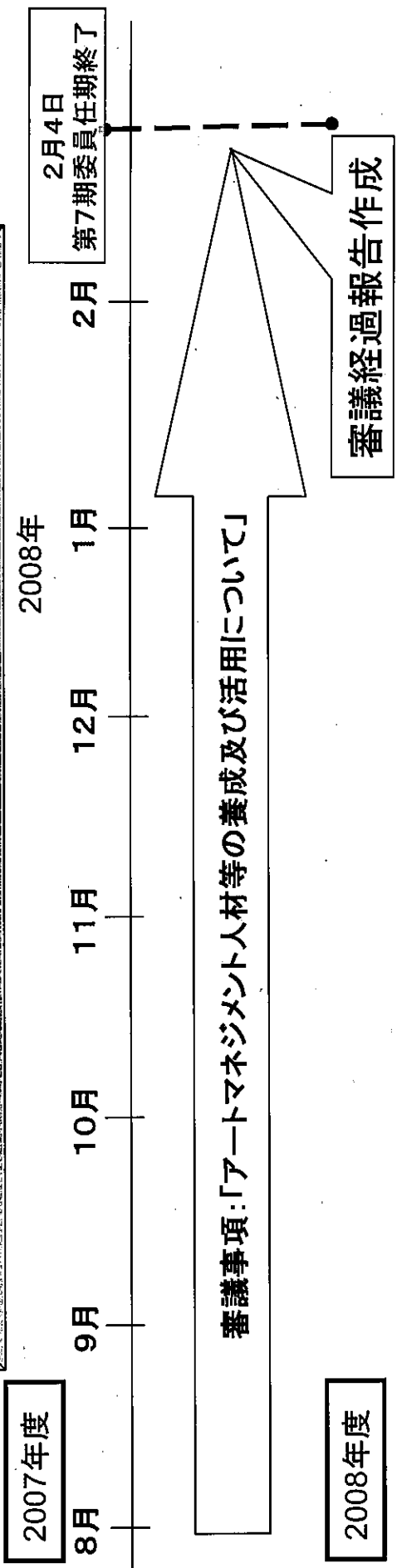
(2) それぞれの検討事項について、論点整理を行う。

(3) 論点整理を踏まえ、報告書のとりまとめを行う。

4. 検討スケジュール

平成20年	6月	4日	自由討議
	6月	25日	各分野（音楽、舞踊、演劇）のヒアリング①
	7月	16日	各分野（音楽、舞踊、演劇）のヒアリング②
	7月	28日	各分野（音楽、舞踊、演劇）のヒアリング③
	9月		論点整理1
	10月		論点整理2
	11月		審議経過報告
	(11～12月)		意見募集)
	12月		最終報告案審議
平成21年	1月		最終報告書のとりまとめ

文化政策部会 今後のスケジュール(案)



※審議の進行状況によっては開催時期が前後することもある